

事業用自動車総合安全プラン2009

～最近の交通事故発生状況等～

各モードの特徴的な事故を踏まえた事故削減目標等

バス

重点削減目標
(プラン2009に掲載)

- ◆ **車内事故**の防止(特に、発進時の車内事故削減を目指す)

【乗合・貸切バス】

- ◆ 平成30年における**交通事故死者数をゼロ**とする
- ◆ 平成30年における**人身事故件数を1,800件以下**とする
- ◆ 飲酒運転を**ゼロ**とする
- ◆ 危険ドラッグ等薬物使用による運行を絶無とする

各モードで設定している事故等削減目標
(関係団体自らが定めた目標)

タクシー

- ◆ 交差点における**出会い頭事故**の防止:平成27年までに2825件まで削減
- ◆ 路上寝込み者等の**轢過事故**の防止:平成27年に0人まで削減

【法人タクシー】

- ◆ 平成30年における**交通死亡事故件数を20件以下**とする
- ◆ 平成30年における人身事故件数を**10,000件以下**とする
- ◆ 飲酒運転を**ゼロ**とする
- ◆ 危険ドラッグ等薬物使用による運行を絶無とする

【個人タクシー】

- ◆ 平成30年における**交通死亡事故件数をゼロ**とする
- ◆ 平成30年における**人身事故件数を840件以下**とする
- ◆ 飲酒運転を**ゼロ**とする
- ◆ 危険ドラッグ等薬物使用による運行を絶無とする

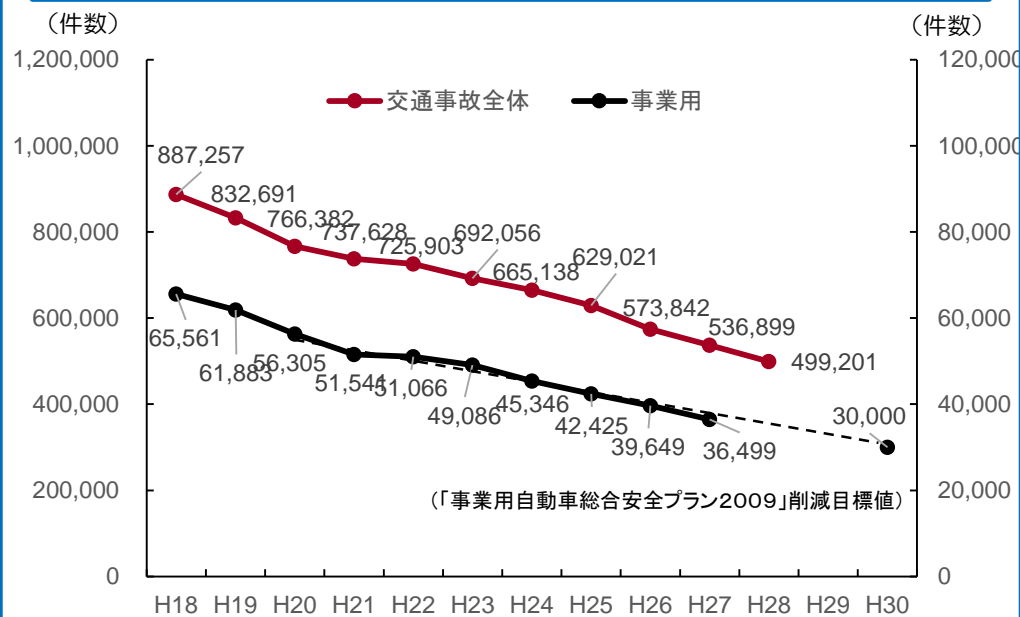
トラック

- ◆ 事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を**車両台数1万台当たり「2.0」件以下**とし、各都道府県(車籍別)の共有目標とする

- ◆ 平成30年における**交通事故死者数を220人以下**とする
- ◆ 平成30年における**人身事故件数を15,000件以下**とする
- ◆ 飲酒運転を**ゼロ**とする
- ◆ 危険ドラッグ等薬物使用による運行を絶無とする

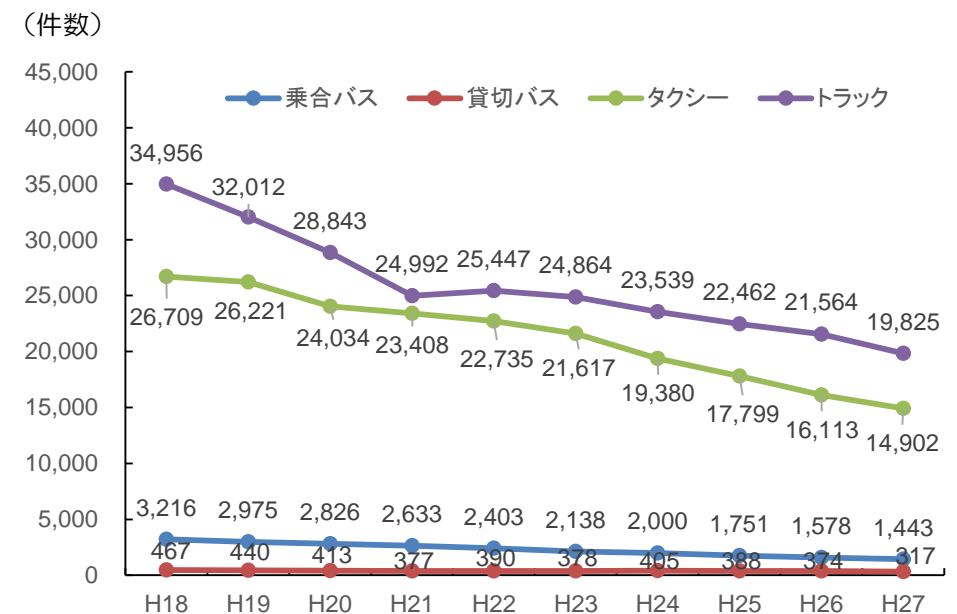
- 交通事故件数は目標達成に向け順調に推移している。
- 各モードの交通事故件数はそれぞれ順調に減少している。特にタクシーの減少割合が大きい。
- 事業用自動車の事故件数のうち、トラックとタクシーの占める割合が大きい。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

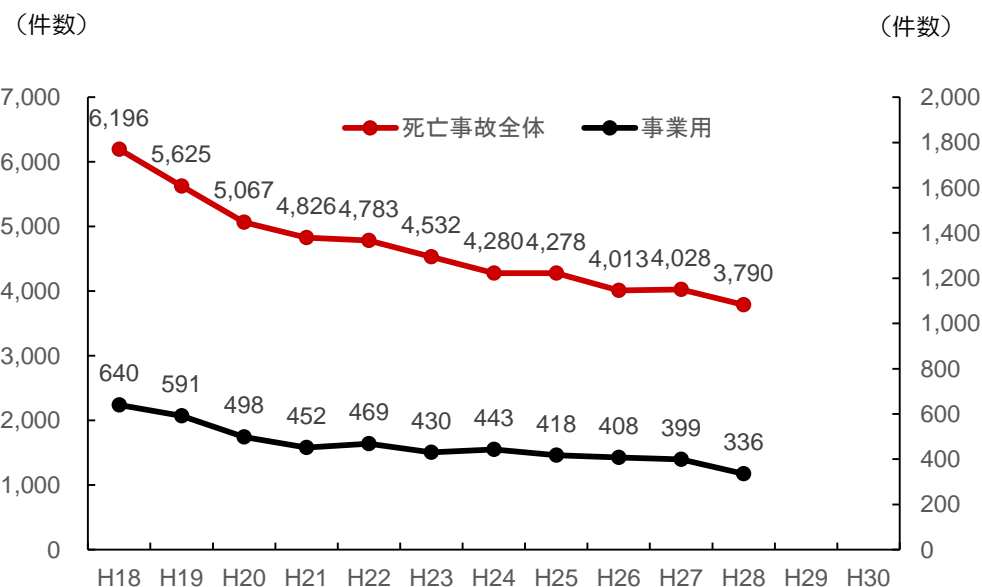
各モードの交通事故の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

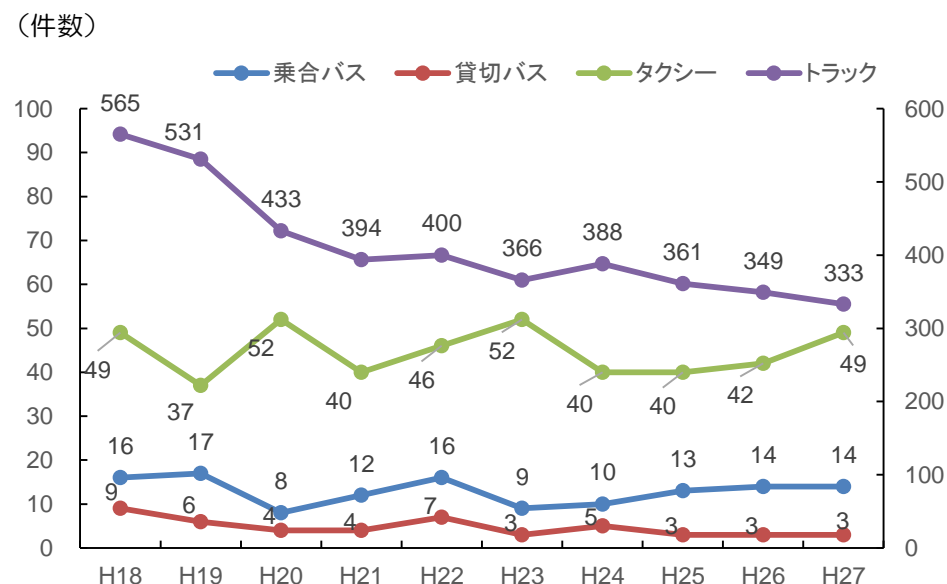
- 死亡事故件数全体は平成27年に一時増加に転じたが、全体として減少傾向にある。
- 事業用自動車の交通死亡事故件数は、減少傾向で推移している。
- 各モードの交通死亡事故件数は、近年乗合バス及び貸切バスは横ばい傾向にあり、タクシーは平成25年以降増加傾向、トラックは減少傾向にある。

交通死亡事故全体と事業用自動車の交通死亡事故件数の推移



出典:警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通死亡事故件数の推移

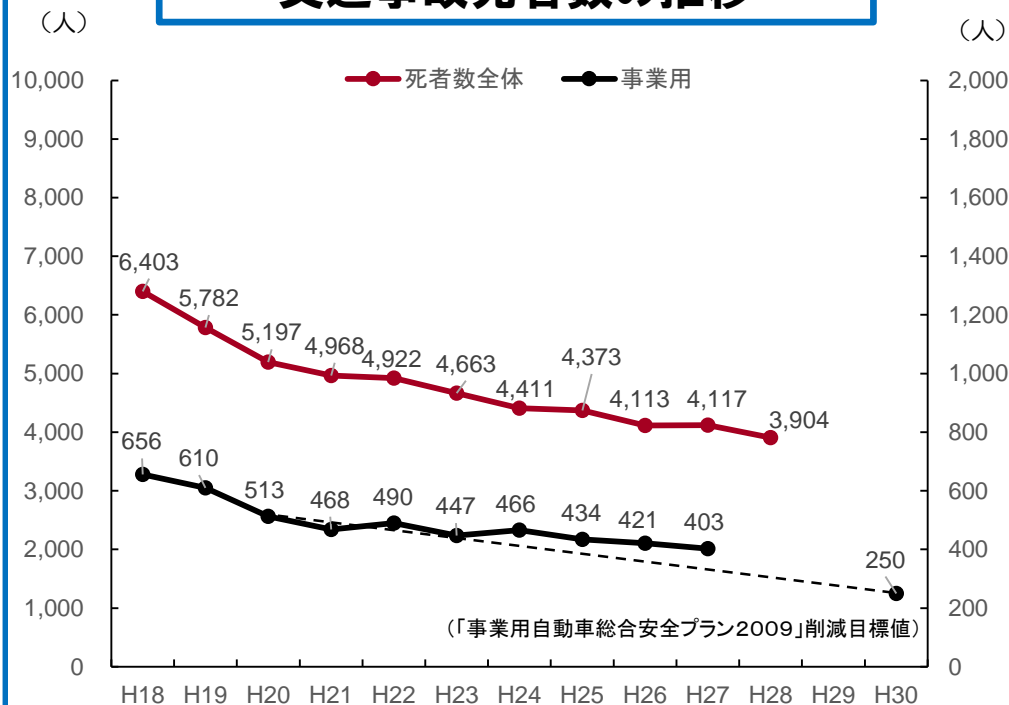


出典:警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

交通事故死者数の推移

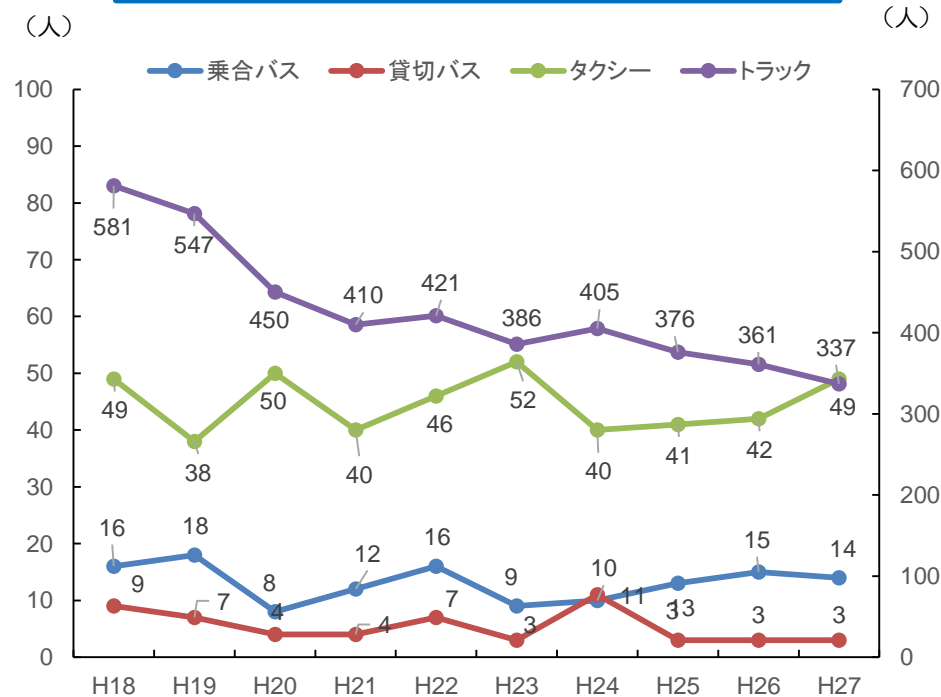
- 交通事故全体の死者数は平成27年に一時増加に転じたが、全体として**減少傾向**にある。
- 事業用自動車の交通事故死者数は、**減少傾向**で推移しているが、**目標達成には依然厳しい状況**にある。
- 各モードの交通事故死者数は、**タクシーについては増加傾向**、**乗合バス及び貸切バスは平成27年までは横ばい**、**トラックは減少傾向**にある。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故死者数の推移

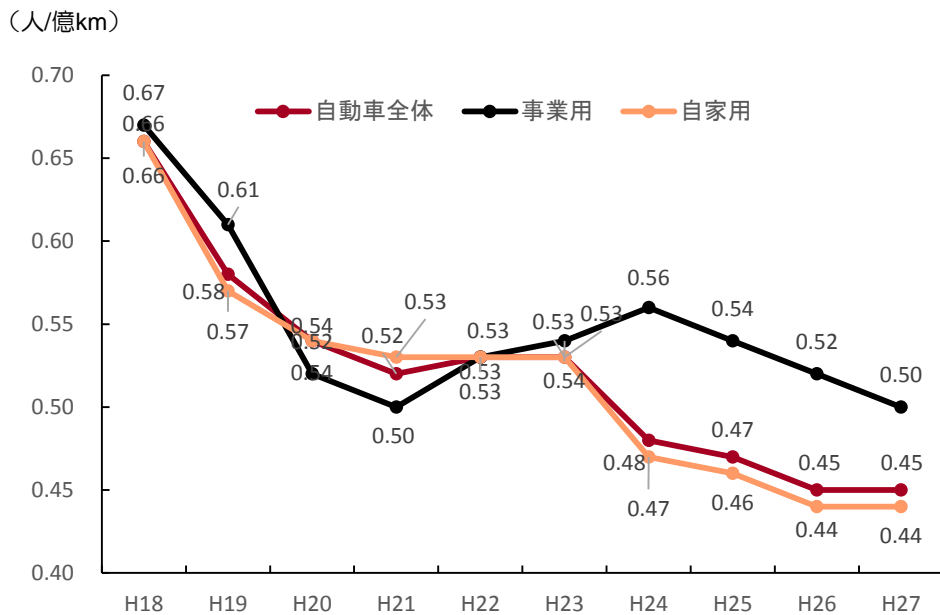


出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

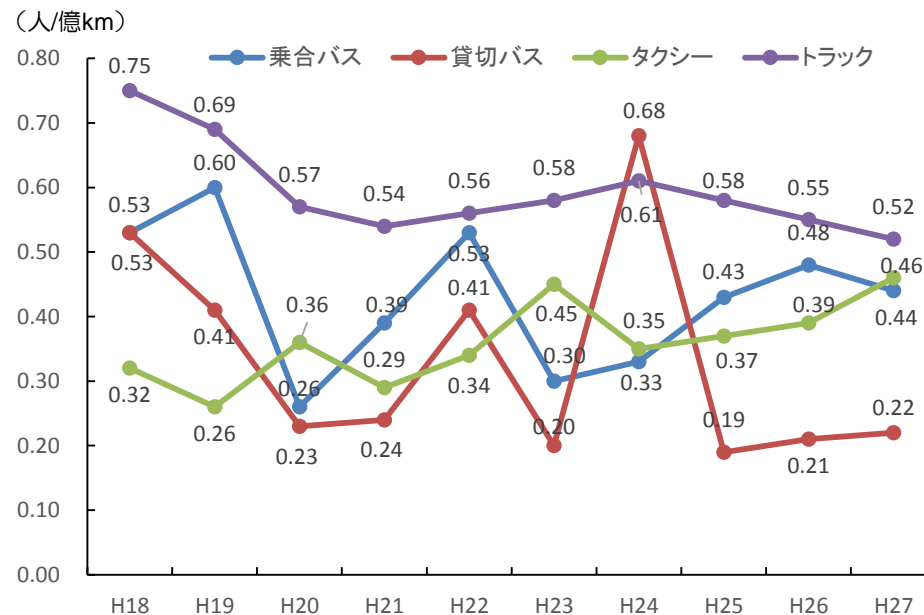
- 自動車全体及び自家用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は**減少傾向**にあり、事業用自動車による交通事故死者数は**平成24年以降減少傾向**にある。
- 各モードにおける走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、乗合バスは平成24年以降**増加傾向**、貸切バスは平成24年に一時大きく増加したが、その後減少に転じ、平成27年までは**微増傾向**、タクシーにおいても平成25年以降**増加傾向**にある。また、トラックは平成25年以降**減少傾向**にある。

走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

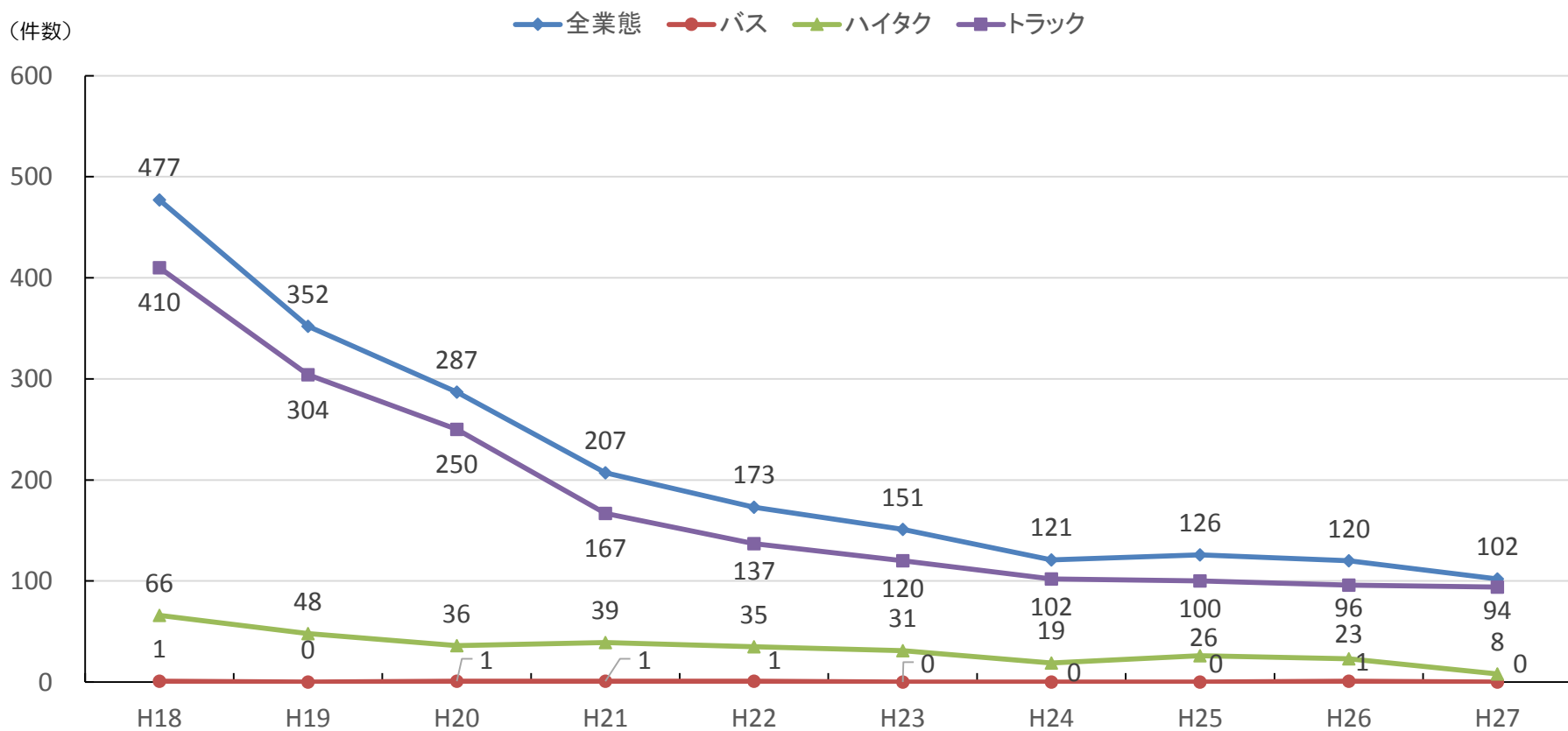
各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：警察庁「交通統計」
 (公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 事業用自動車の飲酒運転に係る道路交通法違反取締件数は、近年横ばい傾向。
- 飲酒運転に係るバスの道路交通法違反取締件数は依然として少ない。また、タクシーは平成27年の違反取締件数が過去10年間で最も少なくなっているが、トラックは平成24年以降横ばい傾向。

事業用自動車の飲酒運転に係る道路交通法違反取締件数



出典：警察庁「交通統計」

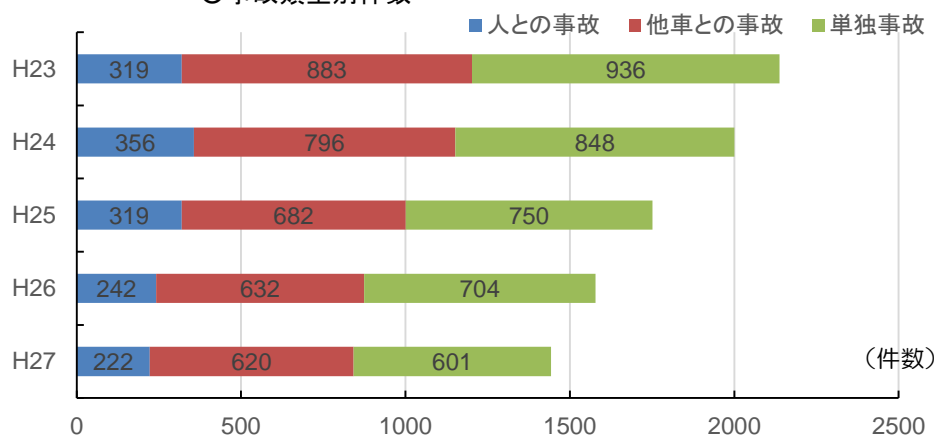
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

乗合バスの特徴的な事故

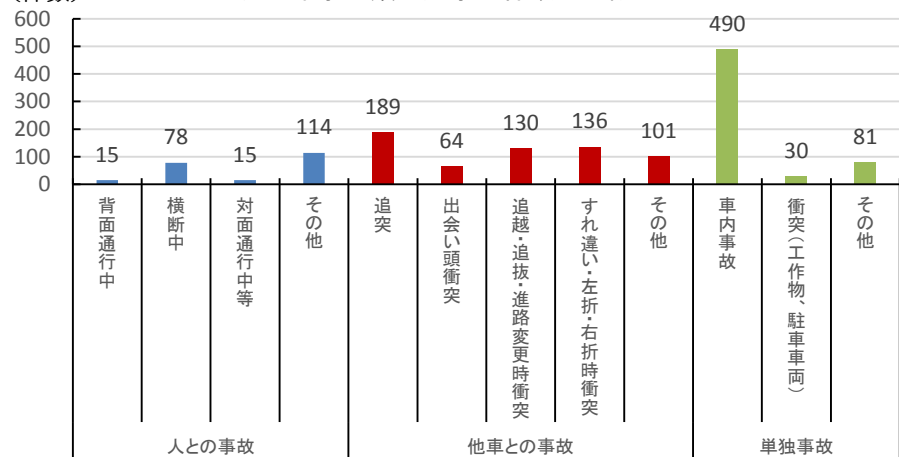
- 交通事故は減少しており、平成26年までは単独事故が最多となっていたが、平成27年は他車との事故が最多となっている。
- 平成27年は、事故類型のうち、車内事故が最多で490件発生しており、乗合バス事故全体の34.0%を占めている。
- 死亡事故は平成24年以降増加傾向であり、平成27年の死亡事故では人の横断中の事故が7件発生し、事故類型中最多となっている。

乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

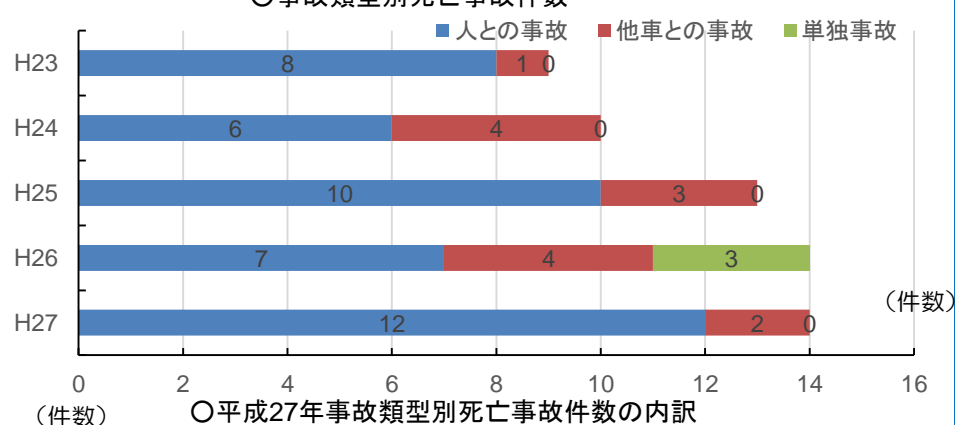


○平成27年事故類型別事故件数の内訳

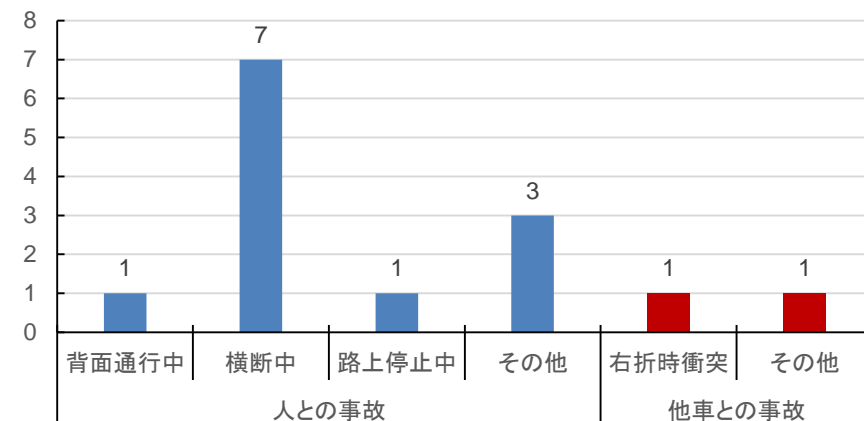


乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○平成27年事故類型別死亡事故件数の内訳



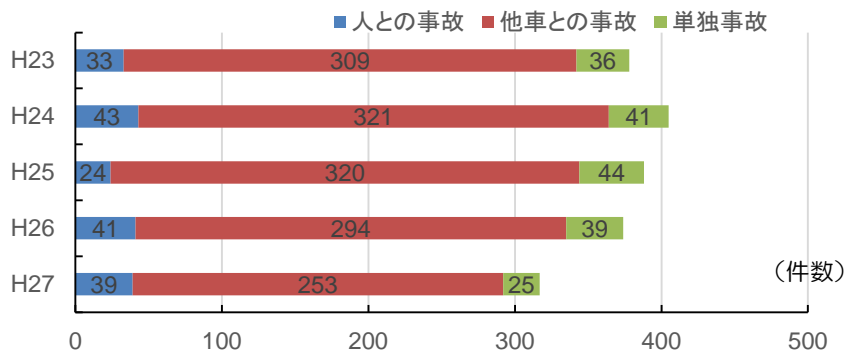
貸切バスの特徴的な事故

○交通事故は平成25年以降減少しており、平成23年以降他車との事故が最多となっている。

○平成27年は、事故類型のうち、**追突事故が最多で102件**発生しており、貸切バス事故全体の**32.1%**を占めている。

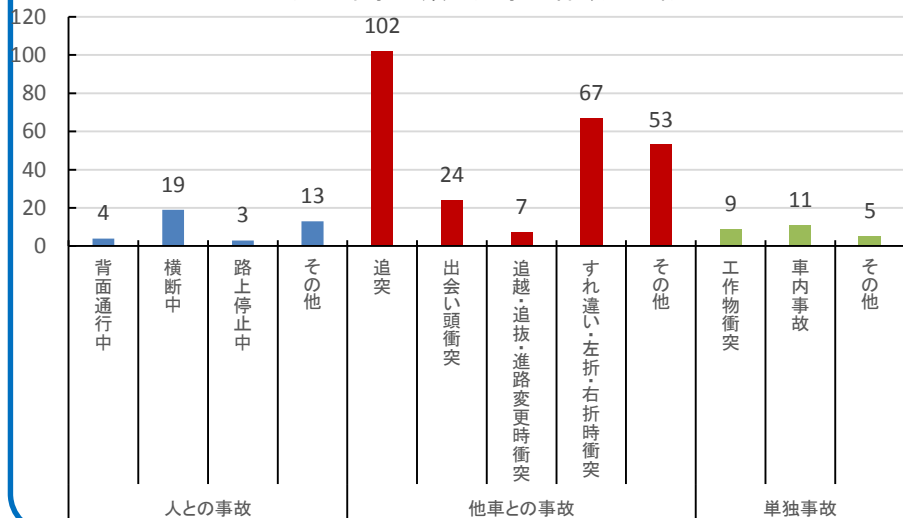
貸切バスの事故類型

○事故類型別件数



(件数)

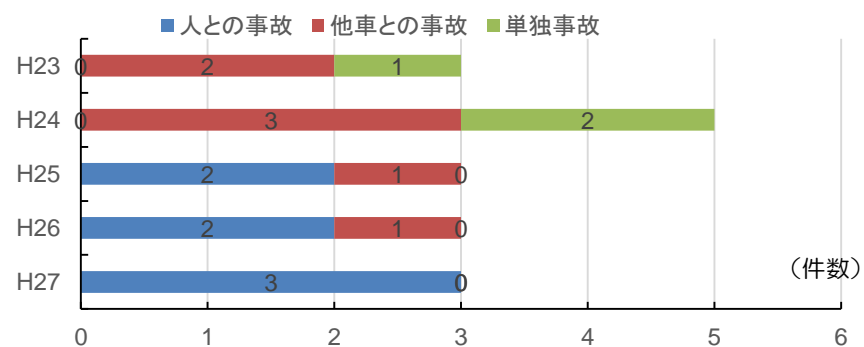
○平成27年事故類型別事故件数の内訳



(件数)

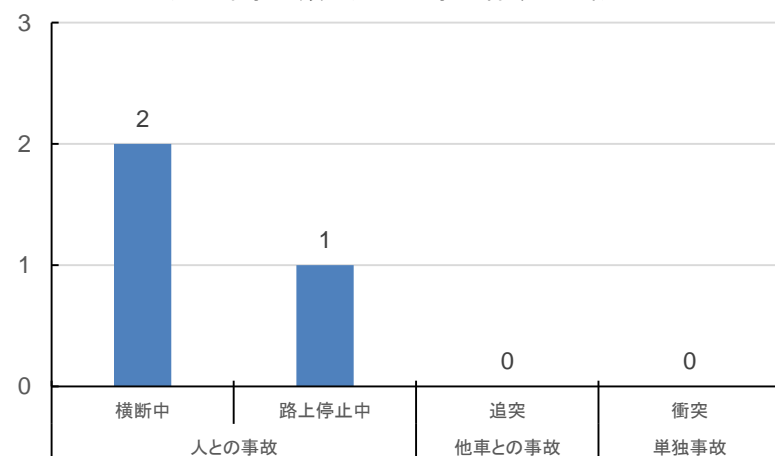
貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



(件数)

○平成27年事故類型別死亡事故件数の内訳



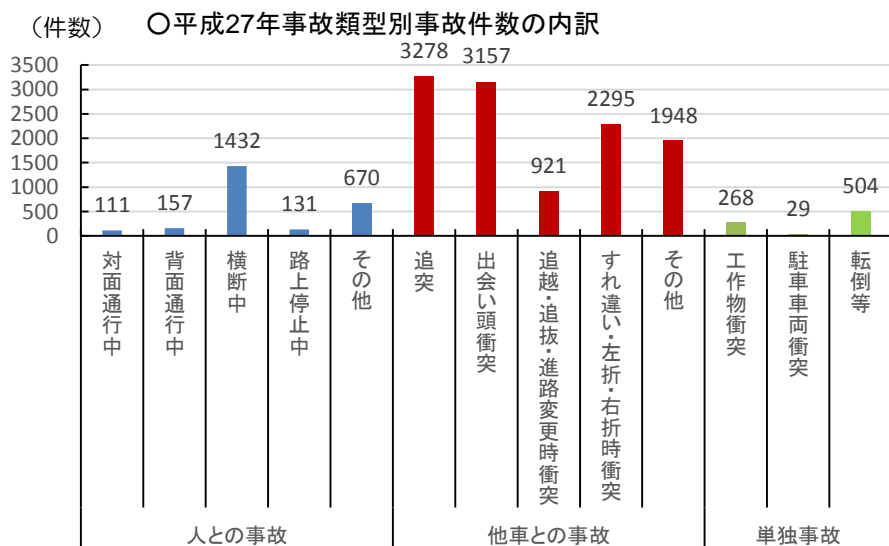
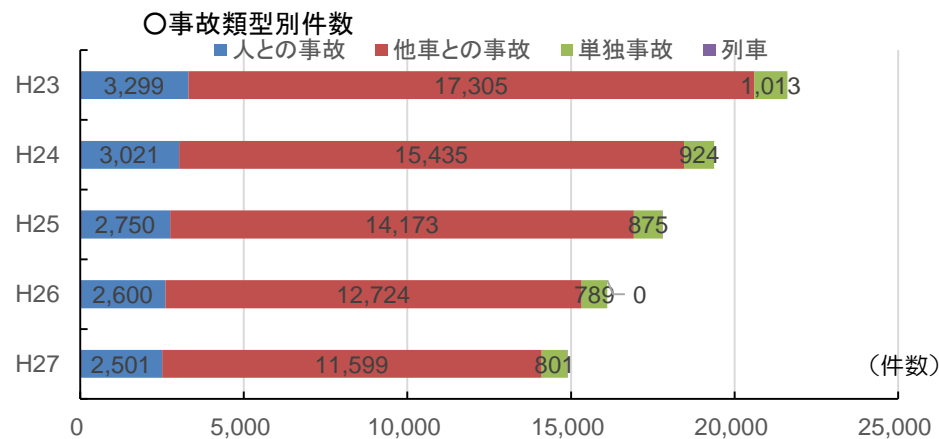
タクシーの特徴的な事故

○交通事故は減少しており、平成23年以降他車との事故が最多となっている。

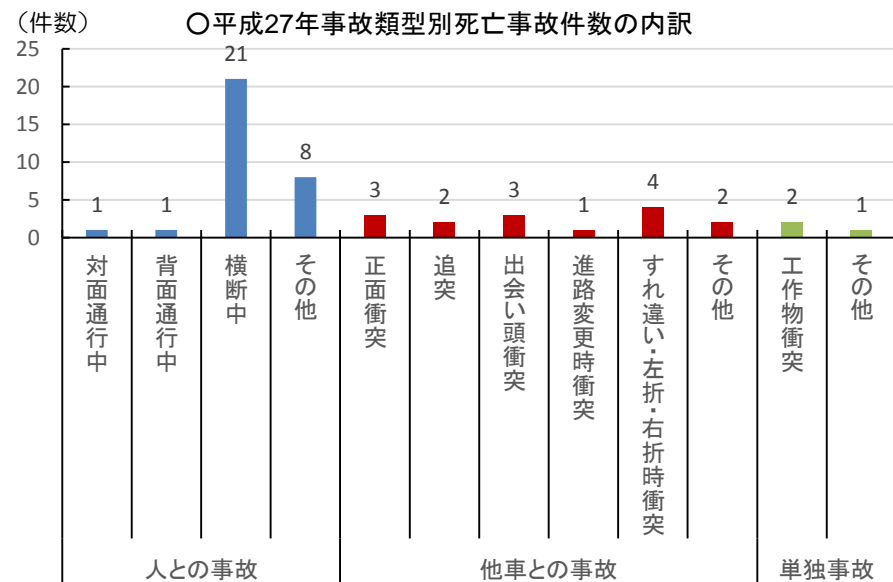
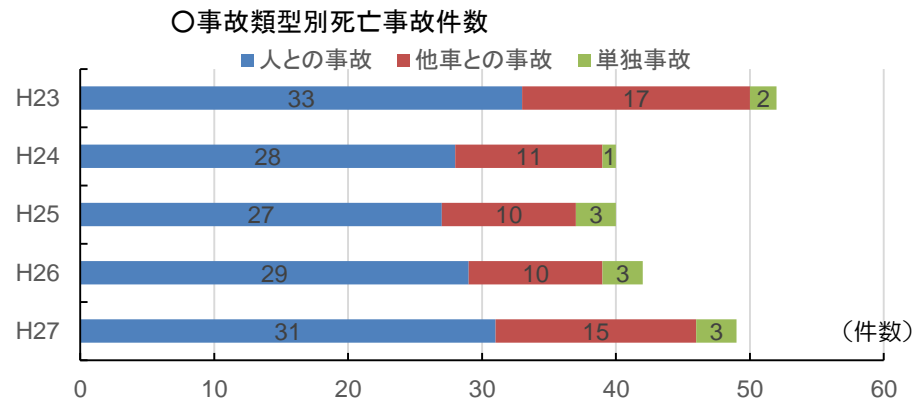
○平成27年は、事故類型のうち、追突事故が最多で3278件発生しており、ハイタク事故全体の22.6%を占めている。

○死亡事故は平成25年以降増加傾向であり、平成27年の死亡事故では人の横断中の事故が21件発生し、事故類型中最多となっている。

タクシーの事故類型



タクシーの死亡事故類型



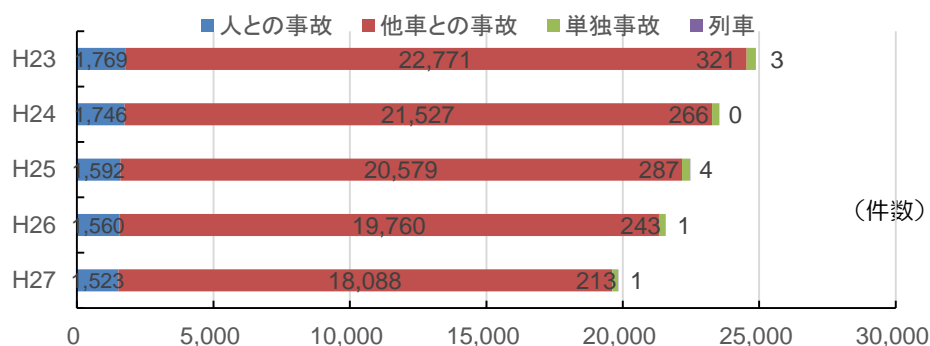
○交通事故は減少しており、平成23年以降他車との事故が最多となっている。

○平成27年は、事故類型のうち、追突事故が最多で9698件発生しており、トラック事故全体の48.9%を占めている。

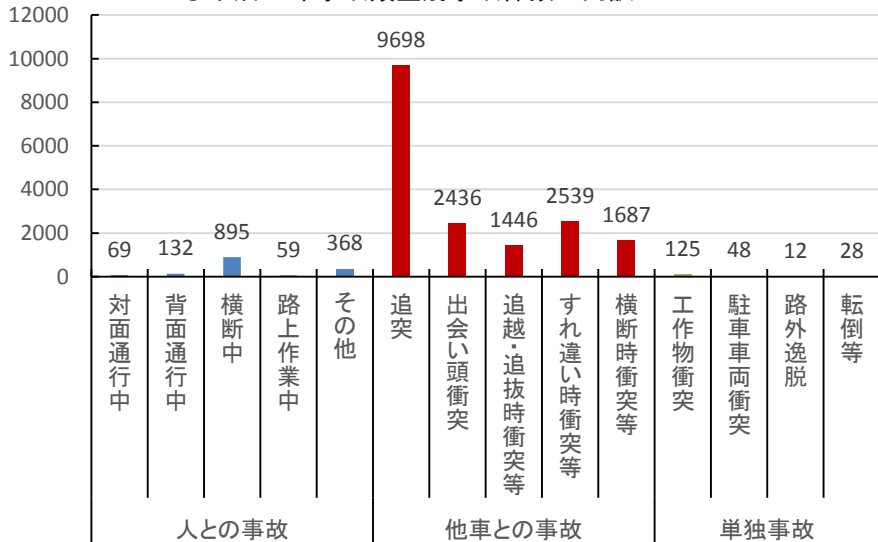
○死亡事故は平成25年以降減少傾向であり、平成27年の死亡事故では人の横断中の事故が77件発生し、事故類型中最多となっている。

トラックの事故類型

○事故類型別件数

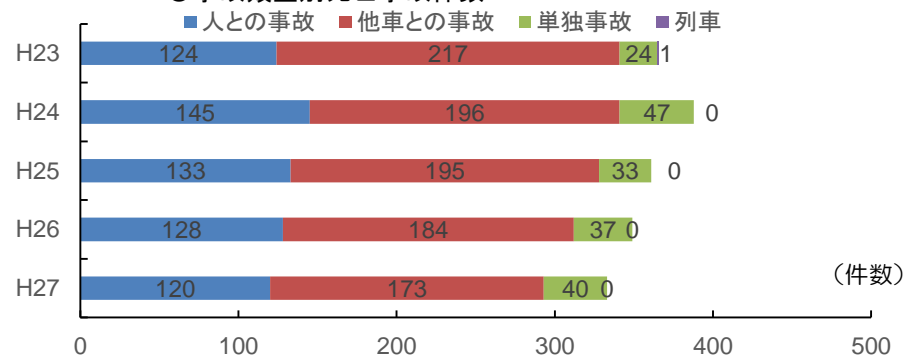


○平成27年事故類型別事故件数の内訳

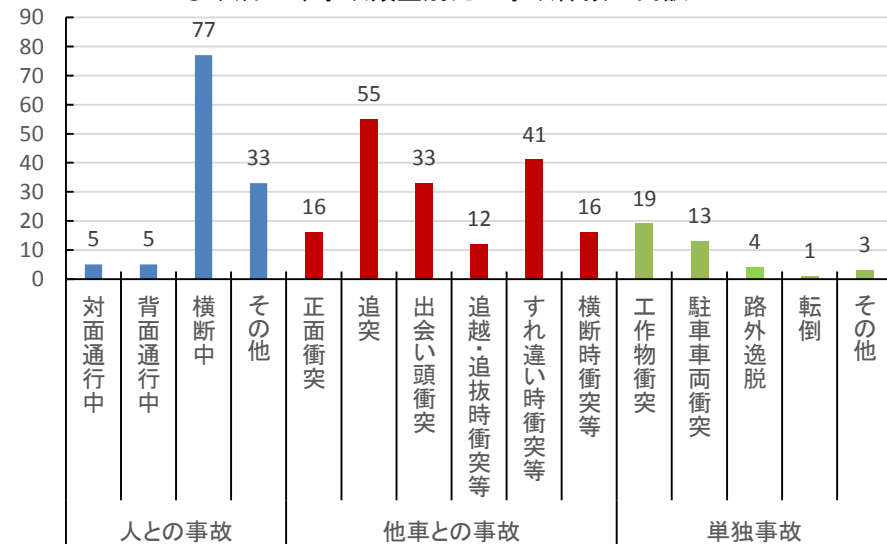


トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



○平成27年事故類型別死亡事故件数の内訳



事業用自動車と人・自転車との主な死亡事故の特徴

	乗合バス	貸切バス	タクシー	トラック		
車両の走行等の態様	直進時	直進時	直進時	直進時	右折時	左折時
発生時間帯	昼間が多い	昼間が多い	夜間が多い	夜間が多い	昼間が多い	昼間が多い
死者の状態	道路横断・飛び出し	自転車運転	道路横断・飛び出し	道路横断・飛び出し	横断歩道歩行	自転車運転
危険認知速度	法定速度程度	法定速度程度	法定速度超過が多い	法定速度超過が多い	低速 (20km/h以下)	低速 (30km/h以下)
その他	横断歩道のない場所を横断してくる高齢者や交差点付近で急に飛び出す子供によるものが特に多い	自転車の転倒や飛び出しによるものが特に多い	空車時に車両進行方向右側から横断・飛び出す歩行者による死亡事故が特に多い	車両進行方向右側から横断・飛び出す歩行者による死亡事故が特に多い	—	大型車による巻き込みが特に多い